

自然災害時における業務継続計画

法人名	特定非営利活動法人バンビーニこども村保育園
種別	学童保育・放課後等デイサービス
代表者	門村 靖
管理者	門村 美春
所在地	津市安濃町太田1841-3
電話番号	059-202-1625

※本ひな形における各項目は、別途お示しする「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」3-2-1～3-2-4に対応しています。6は通所系、7は訪問系、8は相談支援事業固有事項となっており、各施設・事業所等のサービス類型、特徴等に応じ、適宜改変して活用いただくことを想定しています。

目次

1. 総論	1
(1) 基本方針.....	1
(2) 推進体制.....	1
(3) リスクの把握.....	2
① ハザードマップなどの確認.....	2
② 被災想定.....	3
(4) 優先業務の選定.....	4
① 優先する事業.....	4
② 優先する業務.....	4
(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し.....	5
① 研修・訓練の実施.....	5
② BCPの検証・見直し.....	5
2. 平常時の対応	6
(1) 建物・設備の安全対策.....	6
① 人が常駐する場所の耐震措置.....	6
② 設備の耐震措置.....	6
③ 水害対策.....	6
(2) 電気が止まった場合の対策.....	6
(3) ガスが止まった場合の対策.....	6
(4) 水道が止まった場合の対策.....	7
① 飲料水.....	7
② 生活用水.....	7
(5) 通信が麻痺した場合の対策.....	7
(6) システムが停止した場合の対策.....	7
(7) 衛生面（トイレ等）の対策.....	8
① トイレ対策.....	8
② 汚物対策.....	8
(8) 必要品の備蓄.....	9
(9) 資金手当て.....	9
3. 緊急時の対応	10
(1) BCP発動基準.....	10
(2) 行動基準.....	10
(3) 対応体制.....	11
(5) 対応拠点.....	11
(6) 安否確認.....	12

① 利用者の安否確認.....	12
② 職員の安否確認.....	12
(6) 職員の参集基準.....	12
(7) 施設内外での避難場所・避難方法.....	13
(8) 重要業務の継続.....	13
(9) 職員の管理(ケア).....	13
① 休憩・宿泊場所.....	13
② 勤務シフト.....	14
(10) 復旧対応.....	14
① 破損個所の確認.....	14
② 業者連絡先一覧の整備.....	14
③ 情報発信(関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応).....	15
4. 他施設との連携.....	15
(1) 連携体制の構築.....	15
① 連携先との協議.....	15
② 連携協定書の締結.....	15
③ 地域のネットワーク等の構築・参画.....	15
(2) 連携対応.....	15
① 事前準備.....	15
② 利用者情報の整理.....	16
③ 共同訓練.....	16
5. 地域との連携.....	16
(1) 被災時の職員の派遣.....	16
(2) 福祉避難所の運営.....	16
① 福祉避難所の指定.....	16
② 福祉避難所開設の事前準備.....	16
5. 通所系・固有事項.....	17
<更新履歴>.....	18
記入フォーム.....	19
【様式①】自施設の被災想定.....	19
【様式②】施設・設備の点検リスト.....	20
【様式③】備蓄品リスト.....	21
【様式④】利用者の安否確認シート.....	22
【様式⑤】職員の安否確認シート.....	23
【様式⑥】建物・設備の被害点検シート.....	24

【様式⑦】 連絡先リスト.....	25
-------------------	----

1. 総論

(1) 基本方針

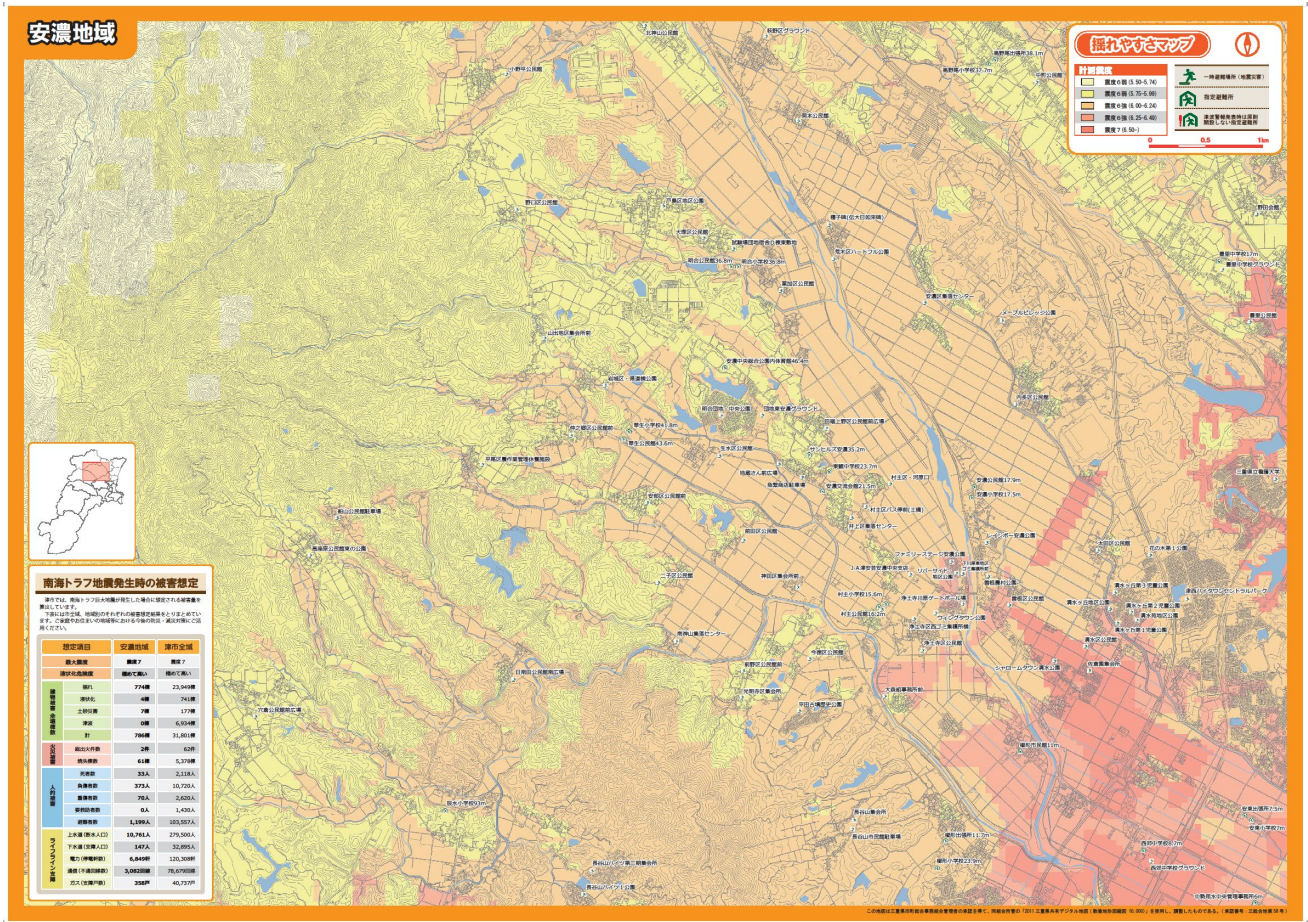
事業所等としての災害対策に関する基本方針を記載する。

- | |
|--|
| (1) 利用者、職員の生命や生活を保護、維持するための業務を最優先業務とし、その他の業務は早期の中止や縮小、休止とする。 |
| (2) 法人が運営・管理する学童保育、放課後等デイサービス、児童発達支援の業務資源の復旧状況に応じて、順次、早期の再開を目指す。 |
| (3) 職員は学童保育と合流・応援可能の検討を図る。 |
| (4) 場合によっては、市町村と調整を図り避難所として地域の災害時要配慮者等を受け入れる。 |

(2) 推進体制

平常時の災害対策の推進体制を記載する。

主な役割	部署・役職	氏名	補足
責任者	理事長	門村 靖	
連絡・記録	児童発達支援管理責任者	尾寄 真紀	
避難・救護	社員	中村 郁哉	
安全確保	社員	中西 優	



② 被災想定

大きな被害が予想される災害について、自治体が公表する被災想定を整理して記載する。

【自治体公表の被災想定】

＜南海・東南海地震を想定して児施設の被災想定＞

交通被害

道路：液状化の可能性はある

橋梁：津波や揺れに関する倒壊の恐れがある

鉄道：交通マヒの可能性はある

ライフライン（平成28年3月時点）

上水：1週間後の断水率は約70%、1か月後は10～30%と想定

下水：上に同じ

電気：1週間後の停電率は約4～20%、1か月後は約5%と想定

ガス：1週間後の支障率は約70～80%、1か月後は約30%と想定

通信：固定電話について1週間後、2～25%、1か月後は約2～15%と想定

【自施設で想定される影響】

自治体発表の被災想定から自施設の設備等を勘案のうえ記載する。また、時系列で整理することを推奨する。

＜バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援の場合＞

	当日	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
(電力)	使用不可 (復旧待ち)								
飲料水	備蓄水								
生活用水	備蓄水								
ガス	利用無し								
携帯電話	使用不可 (復旧待ち)								
メール	使用不可 (復旧待ち)								

＜バンビーニブルーの場合＞

	当日	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
(電力)	自家発電機 →	復旧	→	→	→	→	→	→	→
飲料水	学童のウォーターサーバー使用								
生活用水	井戸水使用								
ガス	プロパン利用可能であれば使用								
携帯電話	使用不可 (復旧待ち)								
メール	使用不可 (復旧待ち)								

(4) 優先業務の選定

① 優先する事業

複数の事業を運営する施設・事業所等では、どの事業（入所、通所、訪問等）を優先するか（どの事業を縮小・休止するか）を法人本部とも連携して決めておく。

<p>＜優先する事業＞</p> <p>(1) 放課後等デイサービス</p> <p>(2) 児童発達支援</p> <p>＜当座休止する事業＞</p> <p>(1) 児童発達支援</p>
--

② 優先する業務

上記優先する事業のうち、優先する業務を選定する。

優先業務	必要な職員数	
	午前中	午後
直接支援	4人	4人

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施

・訓練の方針と概要について

事業所での避難は、施設利用時の被災を想定することになるので、避難行動については限定的なものになるが、第一に利用児童の生命の安全を最優先にした訓練を行うようにしている。特に風水害や津波時の避難については、洪水警報・津波警報発令時に事業所が開所していないことが予想されるため、啓発訓練時に水害や津波対策や避難生活での心構え等について、利用児童に分かりやすく伝えていくことが重要と考える。

・避難訓練実施について

啓発：毎月

実演：毎月

*訓練が一過性で終わらず、継続して実施することを担保する。

② BCPの検証・見直し

検証として、避難訓練実施後に報告書を作成し、後日行われる全員会議で協議を行い、学童保育児童支援員とともに実施手法について承認を行う。

また、会議の際に発言された内容について検証を行い、必要があればBCPの見直しを行うことで、利用児童の安全を確保していきたい。

2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援	建築基準法上の基準を満たしている。 1971年9月建設	
バンビーニブルー	建築基準法の基準を満たしている。 2023年3月建設	

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
ロッカー等の設備	転倒防止の対策を行う	
消火器等の設備	設備点検と設置場所の確認を行う	
避難経路の確保	必要に応じて飛散防止フィルム等の措置を行う	

③ 水害対策

対象	対応策	備考
施設周辺	浸水の危険性を定期的に確認する	
建物周辺	外壁等のひび割れや欠損等を定期的に確認する	
暴風について	危険性のある箇所がないかを定期的に確認する	

(2) 電気が止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と自家発電機もしくは代替策を記載する。

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
発電機	学童保育倉庫に保管中

(3) ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策を記載する。

稼働させるべき設備	代替策
バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援	なし
バンビーニブルー	プロパンガスのため、利用可

(4) 水道が止まった場合の対策

① 飲料水

・バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援
備蓄水を利用

・バンビーニブルー
学童保育設置のウォーターサーバーを利用

*備蓄の場合は、備蓄の基準（2リットルペットボトル●本（●日分×●人分）などを記載）

② 生活用水

・バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援
備蓄水を利用

・バンビーニブルー
井戸水を利用

*貯水槽を活用する場合は容量を記載。ポリタンクを準備する場合は容量と本数を記載。

(5) 通信が麻痺した場合の対策

被災時に施設内で実際に使用できる方法(携帯メール)などについて、使用可能台数、
バッテリー容量や使用方法等を記載する。

→ 携帯電話／携帯メール／PCメール／SNS等

復旧作業を待つ

(6) システムが停止した場合の対策

電力供給停止などによりサーバー等がダウンした場合の対策を記載する（手書きによる
事務処理方法など）。

- ・ 浸水リスクが想定される場合はサーバーの設置場所を検討する。
- ・ データ類の喪失に備えて、バックアップ等の方策を記載する。

PC及びプリンターの電源が確保できれば業務上問題はない。

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、衛生面に配慮し、トイレ・汚物対策を記載する。

① トイレ対策

【利用児童】

断水している場合は、便器にごみ袋を被せて対応する。便器接触面に 1 枚、汚物を処理する為に 1 枚という形で、汚物用を取り換える形で使用していく。

【職員】

利用児童の使用方法と同じ形で対応する。

② 汚物対策

排泄物や使用済みのオムツなどの汚物の処理方法を記載する。

衛生面を考慮して、建物外部に保管する。保管する際は、動物等の被害を想定した対応を心掛けることとする。

(8) 必要品の備蓄

被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する（多ければ別紙とし添付する）。定期的にリストの見直しを実施する。備蓄品によっては、消費期限があるため、メンテナンス担当を決め、定期的買い替えるなどのメンテナンスを実施する。

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
おやつ	約1カ月分	約1年	事務所内	管理者
お茶。水	約1カ月分	約1年	事務所内	管理者

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
救急箱セット	1		教室内	中京医薬品

【備品】

品名	数量	保管場所	メンテナンス担当

(9) 資金手当て

災害に備えた資金手当て（火災保険など）を記載する。

緊急時に備えた手元資金等（現金）を記載する。

- ・損害保険としてスポーツ安全保険に加入
- ・緊急時の資金については、教室運営費として経理が現金を管理している。

3. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

【地震による発動基準】

近隣の交通網が破壊された場合（道路のひび割れ、橋の崩落など）に発動すると考えられる。

【水害による発動基準】

水害が発生すると考えられる場合には、教室を閉所するため発動しない。

【情報源】

緊急地震速報、インターネット、防災無線、津市担当課

また、管理者が不在の場合の代替者も決めておく。

管理者	代替者①	代替者②
理事長	正社員	児童指導員

(2) 行動基準

発災時の個人の行動基準を記載する。

利用児童と自分の生命を守る行動を心掛ける

(3) 対応体制

災害時における対応体制は以下のとおりとする。

(1) 情報収集（門村美春）

・行政や外部機関と連絡をとり、正確な情報の入手に努めるとともに適切な指示を仰ぎ、各施設管理者に報告する。

・利用者家族へ利用者の状況等を連絡する（可能であれば LINE や SMS をメインにする）

(2) 消火班（各施設常勤者）

・地震発生直後は直ちに火元の点検及び確認を行い、発火の防止に万全を期すとともに発火の際は消火に努める。

(3) 応急物資班（各施設非常勤職員）

・食料や飲料水などの確保に努めるとともに、炊き出しや飲料水の配布を行う。

(4) 安全指導班（各施設全職員）

・利用者の安全確認、施設設備の損傷を確認し報告する。施設長の指示があれば利用者の避難誘導を行う。

(4) 救護班（各施設全員）

・負傷者の救出、応急手当及び病院等への搬送、医師の指示を仰ぐ。

(5) 地域班（各施設全職員）

・地域住民や近隣の福祉施設と連携した救護活動、ボランティア受入体制の整備や対応を行う。

(5) 対応拠点

緊急時対応体制の拠点となる候補場所を記載する（安全かつ機能性の高い場所に設置する）。

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
バンビーニブルー 津市安濃町太田 2058	バンビーニ学童保育 津市安濃町太田 1841-3	バンビーニ放課後等デイサービス・児童発達支援 津市丸之内 17-11

(6) 安否確認

① 利用者の安否確認

【安否確認ルール】

基本的に施設利用時は、室内（ワンフロア）で安否が確認できるため心配はないが、戸外活動時の被災については、現地到着時に対応方法の打ち合わせを行うこととする。

【医療機関への搬送方法】

被災時は救急車の出動については困難が予想されるため、教室の送迎車にて搬送するが、事前に受け入れ先の状態を確認して対応することが望ましい。

② 職員の安否確認

【施設内】

基本的に施設利用時は、室内（ワンフロア）で安否確認ができるため心配はないが、戸外活動時の被災については、現地到着時に対応方法の打ち合わせを行うこととする。

【自宅等】

社員の連絡は LINE で確認を行う。連絡のつかない職員については、直接電話をして確認をする。パート職員、非常勤職員については、各施設管理者が安否の確認を行うこととする。

(6) 職員の参集基準

自宅等が被災していない場合は、例外なく参集とする。

【自動参集基準の対象外】

自宅が被災又は道路が寸断する等の理由により、出勤することで職員に危険が及ぶ場合には参集を行わないこととする。

(7) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

第1 避難場所	
避難場所	窓から遠い、または窓がない壁際に避難
避難方法	横一列になって、揺れや窓の破損に対し手対応する。

【施設外】

第1 避難場所	
避難場所	建物倒壊の被害を受けない場所
避難方法	周囲の安全状況を確認しながら、安全を確保していく

(8) 重要業務の継続

経過目安	発生当日	発生後 6 時間	発災後 1 日	発災後 3 日
職員数	出勤率 100%	出勤率 100%	出勤率 70%	出勤率 80%
	10 名	10 名	7 名	8 名
在庫量	100%	90%	80%	70%
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水
重要業務の基準	利用児童を無事に帰宅させる	医療的ケア・食事中心、その他は減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止

(9) 職員の管理(ケア)

① 休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
通常と同様に対応	基本的に業務上必要はないが、必要であれば施設開放

② 勤務シフト

【災害時の勤務シフト原則】

災害発生後に職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性は少ないが、参集した職員の人数によりなるべく職員の体調及び負担の軽減に配慮して勤務体制を組むように災害時の勤務シフトは柔軟に取り扱うこととする。

(10) 復旧対応

① 破損個所の確認

復旧作業が円滑に進むように施設の破損個所確認シートを整備し、別紙として添付しておく。

<建物・設備の被害点検シート例>

対象		状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	・・・		
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	・・・		

② 業者連絡先一覧の整備

円滑に復旧作業を依頼できるよう各種業者連絡先一覧を準備しておく。

業者名	連絡先	業務内容
ミサワホーム	0120-159-330	建築・土木全般
丸之内ビルオーナー	090-3076-2854	工事手配

③ 情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）

災害による被害の状況や復旧の進行度合いなどは、LINE等を利用して情報発信する。
公表のタイミングや範囲、内容、方法について慎重に精査すること。

4. 他施設との連携

（1）連携体制の構築

① 連携先との協議

他の放課後等デイサービスと経営資源の共有を図ることが、地域の福祉向上につながるとは考えていないので、連携する予定はない。グループ 2 施設及びバンビーニ学童保育との運営体制の強化を図る。

② 連携協定書の締結

現在の所予定はない。

③ 地域のネットワーク等の構築・参画

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
伊勢谷医院	059 - 268-2033	提携医療機関

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
津市社会福祉協議会安濃支部	059-268-5804	

（2）連携対応

① 事前準備

グループ内で情報を共有している。2 施設及びバンビーニ学童保育での運営体制の強化を図っていく。

② 利用者情報の整理

グループ内で情報を共有している。2 施設及びバンビーニ学童保育での運営体制の強化を図っていく。

③ 共同訓練

連携先と共同で行う訓練概要について記載する。

グループ内で情報を共有して対応していく。2 施設及びバンビーニ学童保育での運営体制の強化を図っていく

5. 地域との連携

(1) 被災時の職員の派遣

災害時に、公的な対策本部の要請があれば対応していく。

(2) 福祉避難所の運営

① 福祉避難所の指定

福祉避難所として必要な設備を備えていないが、利用児童家族等からの要請で理容の申し出があれば可能な限り、その都度対応していく。

② 福祉避難所開設の事前準備

物資等については、積極的な開設ではないため施設で用意するのではなく、利用希望者のご家族ごとの対応を求める。一般避難所の利用が困難と予想される利用児童の保護者には、平時に説明をして自助努力にて対応していただく。

5. 通所系・固有事項

【平時からの対応】

- ・サービス提供中に被災した場合に備えて、利用者の緊急連絡債を把握すること。（携帯電話、LINE等）
- ・学校等と連携し、利用者への安否確認の方法等を確認しておくこと。
- ・平時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、利用者が他に利用している放課後等デイサービス事業所等）と良好な関係を築くこと。

【災害が予想される場合の対応】

- ・台風や積雪などで甚大な被害が予想される場合においては、サービスの休止や縮小を余儀なくされることを想定し、予め基準を定めておくとともに、学校時においても情報共有の上、利用者やその家族にも説明する。
- ・必要に応じてサービスの前倒し等も検討する。

【災害発生時の対応】

- ・サービスの提供を長期間休止する場合は、市障害福祉課へ確認のうえ必要に応じてグループ内の他事業所を利用したサービスへの変更を検討する。
- ・利用時に被災した場合は、利用者の安否確認後予め把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族等への安否状況の連絡を行う。
- ・利用者の安全確保や家族等への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。
- ・帰宅にあたって、可能であれば利用者家族等の協力を得て行う
- ・帰宅が困難な利用者は、津市との協議の上対応を検討する。

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
令和6年2月	自然災害発生時における業務継続計画再作成	門村 美春

記入フォーム

【様式①】 自施設の被災想定

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	・・・
(例) 電力	自家発電機 →	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
電力										
E V										
飲料水										
生活用 水										
ガス										
携 帯 電 話										
メール										
・・・										
・・・										

【様式②】 施設・設備の点検リスト

場所/対象	対応策	備考
建物（柱）	柱の補強/X型補強材の設置	旧耐震基準設計のもの
建物（壁）	柱の補強/X型補強材の設置	旧耐震基準設計のもの
パソコン	耐震キャビネット（固定）の採用	
キャビネット	ボルトなどによる固定	
本棚	ボルトなどによる固定	
金庫	ボルトなどによる固定	
浸水による危険性の確認	毎月 1 日に設備担当による点検を実施。年 1 回は業者による総合点検を実施。	
外壁にひび割れ、欠損、膨らみはないか	同上	
開口部の防水扉が正常に開閉できるか	故障したまま	4 月までに業者に修理依頼
暴風による危険性の確認	特に対応せず	3 月までに一斉点検実施
外壁の留め金具に錆や緩みはないか		
屋根材や留め金具にひびや錆はないか		
窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付しているか		
シャッターの二面化を実施しているか		
周囲に倒れそうな樹木や飛散しそうな物はないか		

【様式⑥】 建物・設備の被害点検シート

対象		状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	・・・		
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	・・・		

